

三重大学医学部クラスターについて（第7報）

2020年8月12日

三重大学医学部クラスターについて、本日8月12日時点の調査状況を報告します。

1. 調査状況

このクラスターは、7月23日から25日にかけて関西方面の訪問歴のある1名と、7月23日から24日にかけて和歌山県を訪問した11名の2つの一次感染の経路が考えられています。濃厚接触者も含めて陽性が判明している24名の感染可能期間の行動歴を確認し、更なる濃厚接触者調査を行い、検査を実施するとともに、健康観察を行っていきます。

なお、8月11日（火）のPCR検査における陽性者は0名でした。11日までに186名を対象に検査を行い、陽性者は24名、陰性者は162名でした。

2. 医学部としての対応

感染の万一の場合の拡大を防ぐために、授業はオンライン以外すべて中止、クラブ活動は当面の間、全面的に休止し、アルバイトは2週間自粛としております。8日に陽性が判明した教員の濃厚接触者に対するPCR検査の結果は全て陰性でした。また、医学部の新医学棟校舎の閉鎖・消毒を含めて、感染予防対策を行いました。11日には第2回目となる医学部生全員に対する緊急オンラインミーティングを開催し、クラブ活動・社会生活に関する行動規範の周知徹底、新型コロナウイルス接触者アプリCOCOAのインストール要請、医学部生全体を対象にした新型コロナウイルス感染症に関する健康調査の実施について説明するとともに情報共有を行いました。また新型コロナウイルス感染症より回復した学生に対しては、オンラインで個人面談を行って今後の行動制限等の生活指導を行い、三重大学保健管理センターと連携し2週間の経過観察を行います。

医学系研究科長・医学部長
須藤 啓広